



1. 大学の方針

人材養成の目的【大学全体】

東海学園大学は、勤儉誠実の信念と共生（ともいき）の理念に基づく人間力の向上を核とし、社会の発展と文化の向上に寄与できるよう、総合的教養教育と専門教育を通して幅広い職業人の養成を目的とする。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）【大学全体】

1. 「知識・理解」

1. 自然と社会と人間とのかかわりに関心を持ち、幅広い知識と教養を身に付けている。
2. それぞれの専門分野における基本的な知識を体系的に身に付けている。
3. 世界の多様な文化、思想、歴史について幅広く理解することができる。

2. 「汎用的技能」

1. 日本語及び外国語を用い、的確に読み、書き、聞き、話すことができる。
2. それぞれの専門分野について、問題を発見することができる。
3. 情報・資料の収集、普遍的な尺度や数量的指標を用いた分析、論理的な思考を用いて問題を解決し、その結果を表現することができる。

3. 「態度・志向性」

1. 自分を律して行動し、何事にも誠実に取り組むことができる。
2. 他者から学ぶ姿勢をもち、共に生かし合い仕事や研究を進めることができる。
3. 職業人としての倫理観・使命感・責任感を身に付け、社会に貢献することができる。

4. 「統合的な学習体験と創造的思考力」

卒業論文や卒業研究等の作成を通して、自らが立てた新たな課題を解決することができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）【大学全体】

1. カリキュラム（教育課程）は、全学部とも「全学共通科目群」「専門科目群」「演習科目群」の3つの科目群によって構成する。なお、その他に「免許・資格関連科目群」がある。
2. 「全学共通科目群」は、全学部で共通に開講する科目群であり、「ともいき人間教育」「ともいき教養教育」「ともいき実践教育」「健康・スポーツ」「キャリア」「情報」「外国語」「日本語」「人文」「社会」「自然」「日本文化」の各分野の科目によって構成する。
3. 「専門科目群」では、各学部の専門分野における「知識・理解」「汎用的技能」「態度・志向性」「統合的な学習体験と創造的思考力」の修得・深化をめざす科目を体系的に配置する。

4. 「演習科目群」では、1年次から2年次において幅広い教養の獲得をめざす基礎的演習を開講する。また、3年次から4年次において専門的知識の修得をめざすとともに、4年間の学習成果のまとめとして卒業論文や卒業研究などを作成する演習を開講する。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）【全学共通科目群】

1. 「知識・理解」

1. 「共生」と「勤儉誠実」の考え方を理解し、それらに基づいた人間観や自然観、及び価値観を身に付けている。
2. 国際社会の一員としての自覚を持ち、異文化について理解することができる。
3. 人文、社会、自然等の各分野に関連する事柄について、体系的・総合的に理解することができる。

2. 「汎用的技能」

1. 日本語を用いて、的確に読み、書き、聞き、話すことができる力を身に付けている。
2. 国際社会において、的確にコミュニケーションを図ることができる英語等の語学力を身に付けている。
3. 情報通信技術を用いて、情報を入手し、分析し、活用するとともに、有益な情報を社会に発信することができる。
4. 人が人としてよりよく生きていくために、修得した知識を基に、自ら問題を発見し、科学的、及び総合的に問題を捉え、解決方法を見出す汎用的能力を身に付けている。

3. 「態度・志向性」

1. 健康づくりの習慣や、自己管理能力などの態度を身に付け、自分を律し、何事にも誠実に最後まで取り組むことができる。
2. 社会人として責任ある態度を身に付けるとともに、様々な価値観や視点から、柔軟かつ論理的な思考を基に行動することができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）【全学共通科目群】

1. 「ともいき人間教育」の分野では、仏教の立場から「共生（ともいき）」について考察する。具体的には、環境や他者の存在により自己が生かされていること、自己中心的な在り方の反省、自己能力の惜しみない提供、相互補完の精神などを学ぶ。これらを通して、共生と勤儉誠実の考え方を身に付ける。
2. 「ともいき教養教育」の分野では、「共生（ともいき）」の精神のもと、持続可能な社会発展のため、自分たちに何ができるかを主体的・協働的に問題を発見し、解決する能力を身に付

ける。

3. 「ともいき実践教育」の分野では、地域社会における実践的な体験や海外留学・研修を通して、多文化理解に対する認識を深め、自ら考え行動する力を身に付ける。
4. 「健康・スポーツ」の分野では、健康づくりの習慣や、自己管理能力・チームワーク・勤儉誠実・共生などの態度を身に付ける。
5. 「キャリア」の分野では、職業人として働くことの意義を理解し、社会の発展に貢献する態度を身に付ける。
6. 「情報」の分野では、情報通信技術を用いて多様な情報を適切に取捨選択し、分析活用する技能を身に付ける。
7. 「外国語」の分野では、外国語を的確に読み、書き、聞き、話す能力を身に付けるとともに、グローバルな視点を持って多文化理解へとつなげる。
8. 「日本語」の分野では、日本語を的確に読み、書き、聞き、話す能力を身に付ける。
9. 「人文」の分野では、多様な文化、思想、歴史について理解するとともに哲学、倫理、心理、文学について理解し、幅広い教養を身に付ける。
10. 「社会」の分野では、幅広い教養を身に付けるとともに、社会と人間とのかかわりを理解する。
11. 「自然」の分野では、幅広い教養を身に付けるとともに、自然や環境と人間とのかかわりを理解する。
12. 「日本文化」の分野では、芸術や芸能、物づくりを通して、日本各地に伝承される地域文化を比較研究し、本質を考え、その上で日本文化の深層を見極める。

人材養成の目的【経営学部】

経営学部は、勤儉誠実の信念と共生（ともいき）の理念に基づく人間力の向上を核とし、人間生活と社会に貢献する企業・組織経営に関する確かな知識・技能とともに、高邁な人格と高いコミュニケーション能力を身に付けた人材の養成を目的とする。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）【経営学部】

1. 「知識・理解」

1. 専門的職業人として必要な幅広い教養を身に付けている。
2. 経営、経済、会計分野の基礎的な知識を体系的に身に付けている。
3. 国際社会における多様な企業・組織の文化、歴史及び思想を理解することができる。
4. 社会と人間とのかかわりを、企業・組織経営やビジネスの観点から総合的に理解することができる。

2. 「汎用的技能」

1. 国内外のビジネス社会において必要とされる、グローバルな視点とコミュニケーション能力を有している（コミュニケーション・スキル）。
2. 専門的職業人として、企業・組織経営の目的達成を数量的指標を用い分析し、将来の目標を構築することができる（数量的スキル）。
3. 情報通信技術を用いて、社会の情勢に対応して情報を収集分析し、企業・組織経営やビジネスに実践的に活用することができる（情報リテラシー）。
4. 専門的職業人として、多様な経営・ビジネスの形態や環境を論理的に分析し、表現することができる（論理的思考力）。
5. 企業・組織経営やビジネスを取り巻く環境において問題を発見、解決し、価値ある未来を創造することができる（問題解決力）。

3. 「態度・志向性」

1. 自分を律して行動し、何事にも誠実に精一杯の力で取り組むことができる（自己管理能力・勤儉誠実）。
2. 他者から学ぶ姿勢をもち、互いに慈しみ合い、支え合い、共に生かし合い仕事や研究を進めることができる（チームワーク・共生）。
3. 経営の専門知識や幅広い教養を基に、意欲的に社会に貢献し、責任を果たすことができる（社会的責任）。
4. 知識や体験を通して自己を探求する姿勢をもち、発見した自己を社会において最大限に生かすことができる（自己発見）。
5. 専門的職業人として主体的に行動し、チーム・組織のなかで、目的を達成できるリーダーシップ

プを發揮することができる（リーダーシップ）。

4. 「統合的な学習体験と創造的思考力」

卒業研究等の作成を通して、自らが立てた新たな課題を解決することができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）【経営学部】

経営学部では、人間生活と社会に貢献する企業・組織経営に関する確かな知識・技能とともに、高邁な人格と高いコミュニケーション能力を身に付けた人材の養成を目的としている。この目的を達成するために、カリキュラムを「専門科目群」「演習科目群」及び「免許・資格関連科目群」に分け、さらに「専門科目群」を「基礎科目」「基幹科目」「展開科目」「応用科目」及び「教職教科専門科目」に区分している。「基礎科目」は、経営、会計、経済の各分野の基礎的な知識を身に付ける科目を開講している。「基幹科目」および「展開科目」は、経営、流通・マーケティング、会計、経済・金融、法律に関する科目を配置し、さらに、「応用科目」では、情報、グローバルコミュニケーション、スポーツの分野も加えて、基礎知識から実践に必要な知識まで、発展的に身に付けることが出来る。「演習科目」は、1年次では、専門的職業人として必要な幅広い教養、および、チームワーク・共生の精神を身に付け、2年次では、コミュニケーション・スキルや論理的思考力、3年次では、論理的思考力を身に付ける。そして、4年次では、専門を極め、コミュニケーションやプレゼンテーションの能力及びリーダーシップを發揮する能力を身に付ける。さらに、統合的な学習経験から創造的思考力を身に付け、主体的に研究に取り組む態度を養い、卒業研究の取組みを通じて学生同士が互いに支え合い、共に研究を進めることのできるチームワーク力を養う。さらに、学修サポートとして「特別プログラム」を実施している。これは、①起業・経営者プログラム②会計・金融プログラム③グローバルキャリアプログラム④公務員・地域政策プログラム⑤スポーツキャリアプログラム⑥観光・フードプログラムから構成され、特定のキャリアプランに向けた専門的な学びの場を提供して、実践的なスキルの体得だけでなく、社会で役立つ人間力も養っていく。